

DAA フォーラム報告書

1. 開催目的

デジタルアクセシビリティアドバイザー(DAA)活動報告会として開催。基調講演を聴講し、DAA 認定者の活動について情報共有することで、参加者のデジタルアクセシビリティへの意識の高まりを促すことが目的であった。また、このことにより障害のある人のデジタル活用を促進する人材育成につながると考えている。

2. 開催概要

- 日時:2024 年 10 月 24 日(木)13:00~16:30
- 場所:日本マイクロソフト株式会社 品川本社会議場
- オンデマンドによる配信あり
- 参加費:無料
- 参加人数:341 名(現地:46 名/オンライン 295 名)

3. プログラム

時間	タイトル	登壇者	所属
13:00	開会挨拶と DAA 紹介	田代洋章	日本支援技術協会事務局長 66
	挨拶	千葉慎二	日本マイクロソフト
	挨拶	岡田友子	日本財団
13:20	基調講演 1 デジタルデバイドの現状と国の施策	三浦明	デジタル庁国民向けサービスグループ 審議官 54
	基調講演 2 デジタルアクセシビリティ支援機器と 日本作業療法士協会の取り組み	東祐二	日本作業療法士協会 事務局長 57
14:30 ~ 16:20	DAA ショートレポート	大海 恵聖	エムブイピークリエイティブジャパン 46
		石川 愛子	行政職員 (要約筆記者) 23
		北川 康太	神奈川県立茅ヶ崎支援学校 33
		稲葉 通太	大阪府立堺聴覚支援学校中学部 30
		小林 陽香	柏水会三軒茶屋診療所 42
		大野 通久	京都橘大学 20
		佐方 葵	筑波大学大学院 20
		田尻 美穂	エイムズ 20
		園田 大輔	ハッピーブレイン 22
		原田 裕輔	広島大学人間社会科学研究科 18

		平岡 章博	滋賀県社会就労事業振興センター27
16:20	総評	清田 公保	熊本高等専門学校

4. 開催結果

現地参加:47名 オンデマンド再生回数:478回となった。

デジタル庁の三浦審議官からはデジタルに関する我が国の現状やデジタルデバイドに対する施策や各種取り組みについてお話しいただき、日本作業療法士協会の東事務局長からは、作業療法士のデジタル分野における取り組みについてお話しいただいた。

DAA ショートレポートでは、デジタルアクセシビリティ認定を受け各方面でご活躍のみなさまが、どういう思いで資格を取得しご自身の生活やお仕事に活かしておられるのかをご発表いただきました。どのお話も大変に興味深いものでした。是非多くのみなさまに知っていただきたいと感じた。また、フォーラム終了後に、このように障害種を横断した実践発表は非常に貴重であった。初めて伺うサポートの方法や考え方に対する大変刺激を受けたとの声も聞かれた。

5. ビデオアーカイブ

当日の基調講演並びに DAA ショートレポートでの各登壇者の発表動画を Web に公開した。

<https://daa.ne.jp/event/archives/1562>

6. 課題

会場で情報保障としてリアルタイム字幕を専用画面に表示させたが、精度が低くメイン画面と字幕画面の距離が遠くて見づらかったとの声が聞かれた。次回以降は、字幕をメイン画面内もしくはすぐに字幕画面を配置できるようにしたい。

7. 総括

デジタルアクセシビリティアドバイザーをたくさん育成し身边に位置づけていくことが、障害のある人の教育や就労や日常生活を快適な方向へと導いていくことに繋がる本当に重要な事業であると再認識した。

2025年10月31日

一般社団法人日本支援技術協会
デジタルアクセシビリティアドバイザー認定委員会